

NPO法人 海に学ぶ体験活動協議会 第10回講演会

■講演会主旨

特定非営利活動法人海に学ぶ体験活動協議会（以下CNAC）は、平成19年に海辺の自然体験活動を普及させるために設立された全国組織です。これまで海辺の体験活動の普及のために安全に関する一般市民への啓発、指導者養成等を中心に実施し、成果物として、海あそび安全講座のための小冊子、運営マニュアル、海あそびのプログラム事例集などを作成しています。

設立以来5年を経過した平成25年度からは、新たな活動計画として三ヶ年の中期的目標を策定し、個々のNPOでは実施できない、全国組織としての使命を実現するために、「皆で汗かく三つの広げよう運動」（平成25～27年度）を展開し、平成28年度からは、これまで蓄積してきた「海辺の自然体験活動」や新たに開発した「海辺の環境教育プログラム事例集」などのノウハウを広範な関係者と共有連携しながらフィールドで実践し、自然体験活動の定着を図る「実践するCNAC三ヶ年計画」（平成28～30年度）を推進。さらに、令和元年度（平成31年度）からは地域と連携しつつ、財政の立て直しを主眼とした取り組み「新たな可能性を創造する三ヶ年計画」（令和元～3年度）を策定し、CNAC会員が地域の中でより一層活動を広げるための広報用リーフレット「地域の資源を生かす“海あそびスキルを学ぼう”」を作製し、PRを強化してきました。令和4年度からは、関係者との連携の一層の強化を目指した「新たな連携を構築する三ヶ年計画」として、CNACならではの海辺の環境教育プログラムの開発による自立運営に向けた取組を展開してまいりました。

このたび、令和7年度CNAC総会の開催にあたり、水産庁が推進する「海業」における漁業体験活動の現状について、漁村総研の竹山様に話題提供を頂くことといたしました。

CNACとして海業との連携を考える上で、新しい知見をいただくことにより、今後の会員の皆様の活動を広げる機会になると考えています。

■プログラム

1. 開催日時：令和7年6月3日（火）15：45～16：45
2. 開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟409
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
3. スケジュール
 - 講師：（一財）漁港漁場漁村総合研究所 第3調査研究部 主任研究員 竹山 佳奈 様
 - 演題：「海業における漁業体験活動の取組みについて（仮）」
 - プログラム
 - ・受付 15：00～
 - ・講演 15：15～16：45 ※質疑含む
 - ・閉会 16：45

講師：竹山佳奈様（（一財）漁港漁場漁村総合研究所 第3調査研究部 主任研究員）略歴

2004年東京水産大学大学院修士課程卒業。学生時代に全国の干潟をフィールドに巻貝類を採集し研究していたことから、干潟保全・再生の重要性を実感。

卒業後、五洋建設（株）の環境分野担当として20年間、干潟・浅場・藻場等の沿岸域の再生に関する研究及び施工時における環境影響に関する調査・検討を担当し、2021年東京海洋大学にて都市臨海部における自然再生技術と水生生物群集を研究テーマに博士（海洋科学）取得。

多摩川スカイブリッジ施工時に多摩川河口干潟に関わったことをきっかけに、東京湾再生官民連携フォーラムにて「多摩川河口干潟ワイズユースプロジェクトチーム」を立ち上げた。

2024年より一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所に転職し、全国各地の漁港における「海業」の立ち上げ支援に携わる。

